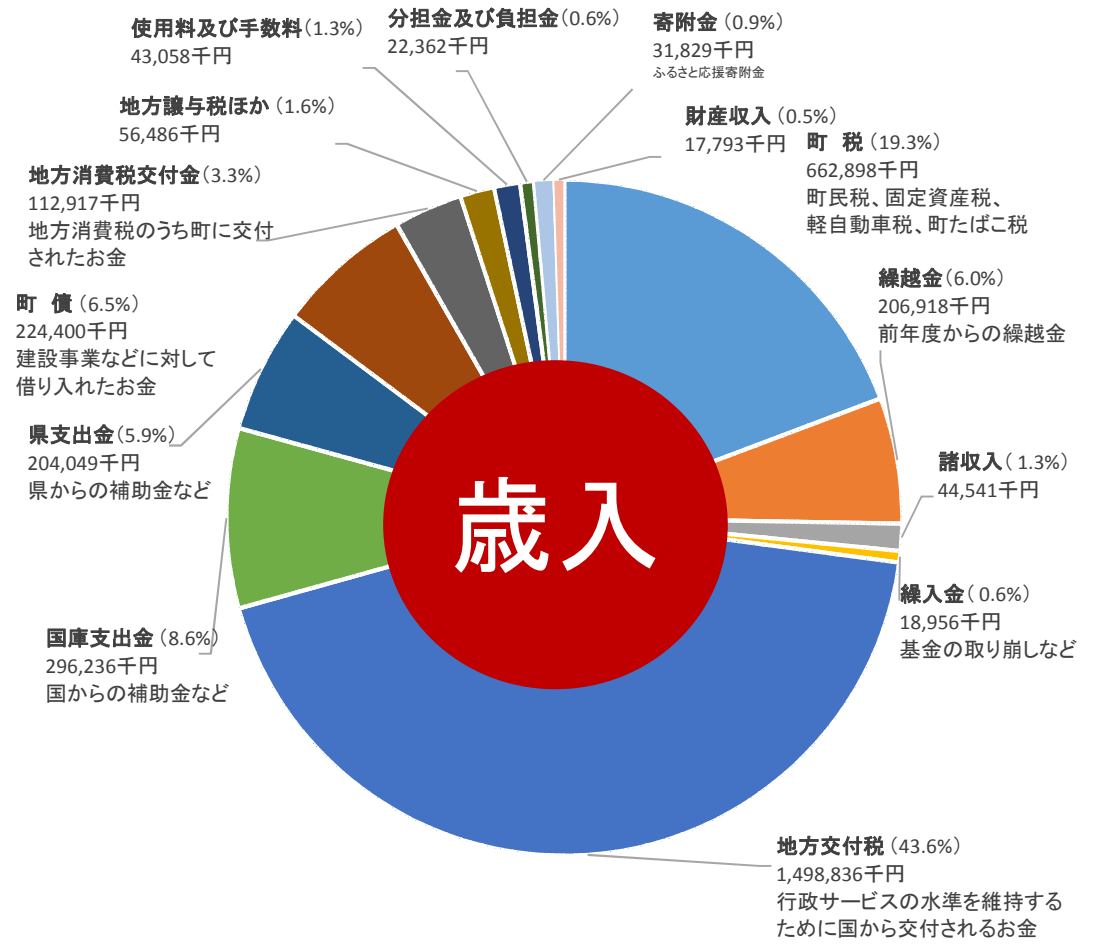


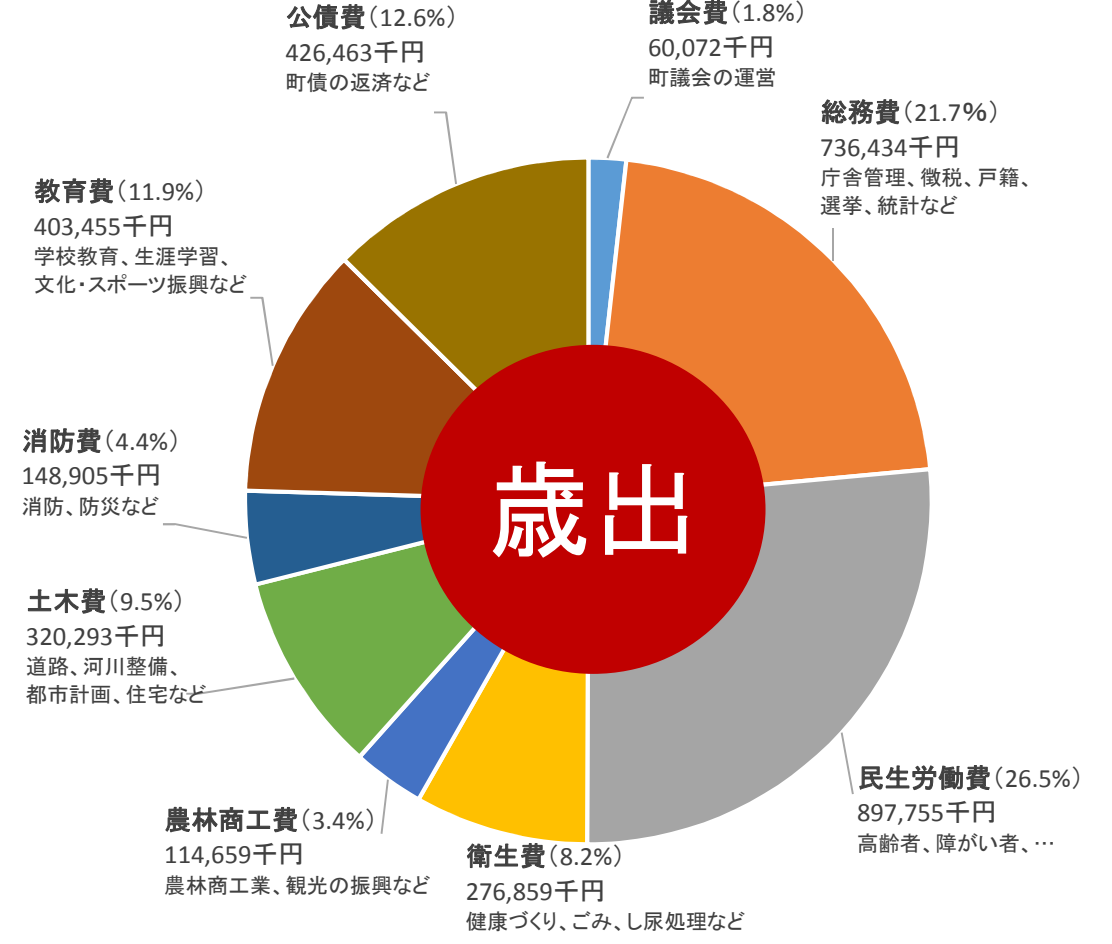
# 令和元年度 決算

## 一般会計

歳入 34億4127万9千円



歳出 33億8489万5千円



**一般会計**  
 実質収支は3801万1千円の黒字  
 単年度収支は1億3098万1千円の赤字  
 一般会計決算額は、歳入が34億4127万9千円、歳出が33億8489万5千円で差し引き、5638万4千円の黒字となり

ました。このうち令和2年度に実施する事業の財源1837万3千円を差し引くと、実質収支は3801万1千円の黒字となりました。しかし、前年度の実質収支が1億6899万2千円でしたので、これを差し引いた単年度収支は1億3098万1千円の赤字となりました。

令和元年度の決算が令和2年町議会第3回定例会で認定されました。決算は、町にどれだけのお金が入り、どのような事業に使ったかを表す家計簿です。決算を通して、みなさんに納めていただいた税金をどのような事に使わせていただいたか、町の財政状況などの概要をお知らせします。  
 (千円未満は四捨五入)

## 会計別の決算

会計名	歳入額	歳出額	差引額	
一般会計	3,441,279千円	3,384,895千円	56,384千円	
特別会計	学校給食特別会計	24,946千円	24,946千円	千円
	国民健康保険特別会計	885,114千円	822,961千円	62,153千円
	下水道事業特別会計	248,502千円	242,724千円	5,778千円
	後期高齢者医療特別会計	122,249千円	121,402千円	847千円
	介護保険特別会計	887,227千円	885,642千円	1,585千円
企業会計	収入額	支出額	差引額	
水道事業会計	収益的収入及び支出	221,916千円	200,036千円	21,880千円
	資本的収入及び支出	1,704千円	43,296千円	▲41,592千円

## 健全化判断比率

4つの指標全て基準値内  
 自治体が財政破綻することを未然に防ぎ、破綻しそうな自治体の財政を早期改善するため、財政状況を4つの指標として数値化します。  
 高取町では、4つの指標全て、基準値内の結果となりました。

◆高取町の財政健全化判断比率◆

健全化判断項目	高取町 (令和元年度比率)	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	15.0%	20.0%
②連結赤字比率	—	20.0%	30.0%
③実質公債費比率	9.4% (3カ年平均)	25.0%	35.0%
④将来負担比率	110.9%	350.0%	—

早期健全化基準…財政状況が悪化しつつあり、早期に改善が必要な基準  
 財政再生基準…行政運営に国や県の関与や助告を受ける基準

## 水道事業会計

5つの会計決算は全て黒字  
 特別会計とは、特定の事業を行うための経費を一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計で、5つの特別会計の決算額は右表のとおりです。

【歳出】  
 前年度より3631万9千円1.1%の増加となりました。  
 これは小中学校空調整備事業などの普通建設事業の増加したことや、扶助費の増加、将来への備えのための財政調整基金への積立が増した。

【歳入】  
 自主財源である町税は減少しましたが、一方で地方交付税は増加となりました。  
 また、国営大和紀伊平野土地改良事業負担金に伴う町債が減少したことにより、前年度に比べ1億1421万5千円3.2%の減少となりました。

【用語説明】  
 ①実質赤字比率  
 一般会計等の実質的な収支が黒字か赤字かを判断するための指標

②連結実質赤字比率  
 一般会計等と特別会計、企業会計の合計の実質的な収支が黒字か赤字かを判断するための指標

③実質公債費比率  
 標準的な年間収入に対して、地方交付金などで措置される部分を除いた借金の返済額の割合

④将来負担比率  
 標準的な年間収入に対して、将来負担しなければならない借金などの割合